

広報 妻籠宿



公益財団法人妻籠を愛する会 平成27年8月20日発行

No.115



(下町水車 ユリコ・タカタ画)

妻籠の印象? … そうね

古い日本の姿がある

細かいところまで手が入っている

日本人の心の故郷が伝わるってところかしら…

(ユリコ・タカタ)

第38回全国町並みゼミ豊岡大会

南木曾町教育委員会 今井 紳太郎

豊岡市は、兵庫県北部（但馬地域）に位置し、平成の大合併で周辺の「城崎町」「竹野町」「日高町」「出石町」「但東町」と合併してできた兵庫県最大の面積を誇る市です。コウノトリの保護・繁殖・共生の事業が行われているのでそちらを思い浮かべた方も多いのではないのでしょうか。また、志賀直哉が著した「城の崎にて」に登場する、「城崎温泉」、重伝建地区である出石城下町など多くの観光スポットが存在します。

出石は城下町として整備された町割りが碁盤の目状であることなどから、但馬の小京都と呼ばれており、平成十九年に重伝建地区に選定されました。

その出石は「皿そば（白地の小皿に盛る様式）」を観光名物として売りに出していますが、その蕎麦屋が目下の課題とのことでした。風情に調和しない店舗や看板、開店中を知らせるパトランプ、無電柱化対策、客引き等。現在の年間観光客数は約八十万程度で推移しており「観光地」としては名を馳せていますが、「町並み保存」という観点から見ると、まだまだ苦勞しているようでした。



〈出石皿そば〉

伝統的建造物群保存地区制度が出来てから今年で四十年が経ちました。その間に保存地区は順調に増え、この7月8日に山梨県の「甲州市塩山下小田原上条」が選定され、全国百十番目の重伝建地区が生まれました。初代重伝建地区であり、最大の保存面積を誇る私達の妻籠宿は他の保存地区のお手本となるべく「観光」と「保存」の両立について、これからも常に考えていかなければならないと、今回町並みゼミに参加して改めて考えさせられました。



〈全体会：出石永楽館〉



〈登録有形文化財：三木屋に宿泊〉



〈城崎まちめぐり〉



〈今井です〉

今回の豊岡大会には、妻籠から鈴木省吾（副理事長）、藤原義則（常務理事）、松瀬博敏（理事）、磯村正義（理事）西尾真一（町観光係）、今井紳太郎（教委）の6名が参加しました。

中町：「まつや」の片づけを行いました！

「まつや」の片づけと今後の予定について 地域おこし協力隊 松林 沙紀

妻籠宿にあるまつや（旧本多家住宅）について、6月27日（土）、妻籠を愛する会と南木曾町の協力を得て掃除イベントを開催し、内部の不用品整理を行いました。回覧やFacebook等で呼びかけた結果、町内の方にお集まり頂き、総勢12名での作業となりました。

当日はまず、まつやの主屋で簡単な挨拶や今回の趣旨説明・スケジュール説明を行い、参加者の方々にも簡単に自己紹介をして頂きました。その後、不用品整理の箇所（離れや土間など）の役割分担の後、作業に取り掛かりました。

当初は不用品整理と簡単な掃除を予定していたのですが、土間や押し入れから想定以上の家財や生活雑貨が出てきたため、その仕分けと搬出の作業に忙しく、拭き・掃き掃除などに取り掛かっている余裕はありませんでした。不用品搬出については、参加者の方で軽トラックや運搬車両を運転できる方にご協力いただき、仕分けで廃棄と判断されたものを車両に積み、事前に連絡をしていた町の廃棄物処理業者さんのもとへ運びました。途中小雨の降る中での積み込み作業となりましたが、休憩をとりつつ、予定通り16時半ごろには区切りをつけ作業を終了することが出来ました。まだ裏手の屋外や屋根裏等に残っていますが、それも今後片付けていく予定です。

今後の予定については構想段階ですが、継続して内部の片づけ・整理を行い、設備・内装についてもワークショップなどで整えていき、町並み保存を学ぶ学生への資料公開の場や地域の方の懇談の場などに活用していけたらと思います。



片付け作業に参加して 広報部 原 信之

6月27日、妻籠宿にある空き家の中の片付け作業に、私は今回、ボランティアとして参加しました。

まつやは、20年ほど前から空き家になっており、昨年妻籠を愛する会の名義になったのをきっかけに、今後の活用のためこのような作業が行われました。

参加者は総勢12名。マスクや軍手を着用しながら、南木曾町の地域おこし協力隊の方の指示で作業が進みました。私は台所のあたりの担当で作業をしました。まず、食器等を外に運び出し、古い棚や台を解体し、トラックに次から次へと荷物を載せました。作業を続けて数時間後、トラックには荷物が山積みになり、家の中はトイレもお風呂も掃除が終わり、きれいになっていました。裏の2階から望む外の景色が素敵で、古い家でも手入れをすれば、まだまだ使えるんだなあと思いました。

このような空き家は、全国的に対策が問題になっています。これからもっと急速に空き家が増えていきます。妻籠宿は今まで町並み保存のお手本となってきたので、空き家対策でもお手本となれるような取組が今後出来ればいいなと思います。まつやの今後の活用方法は未定だそうですが、私はこれからも少しでも妻籠宿の保存に協力していけたらと思っています。



ふれあい館で観光客の方々と交流

妻籠神楽組 山下 航

平成27年3月、和楽器の愛好者が集まり、音楽を気楽に楽しみながら、観光客や地元の方々に楽しんでもらおうと、「妻籠神楽組」を結成しました。現在8名が所属しており、毎週水曜日19時ごろからふれあい館にて公開練習を行っています。主に和楽器は、和太鼓・三味線・篠笛・琴などを演奏しています。今は、海外の観光客の方々が私たちの演奏を聴いたり、和楽器の体験などをして楽しんでいます。

先日海外の観光客の方が、ふれあい館の外の椅子に座り、じっと私たちの演奏を聴いてくれていました。その方にお話を伺うと、その方は音楽家で、仕事で日本に来るそうなのですが、今回はプライベートで妻籠に来てくださったそうです。海外で和楽器を演奏したりしていた経験があるそうです。私たちの演奏を暖かく楽しんで見守ってもらっていたことに本当に嬉しく思い、ありがたく感謝しました。



〈山下と原〉

そして、8月13日にホテル木曾路のラウンジコンサートで原信之と山下航の2名で篠笛と三味線の演奏を披露しました。この経験を元にいろいろな舞台上で皆様に楽しんでもらえる和楽器の演奏を創作していきたいと思います。現在のメンバーは、もちろん素人ですが、皆一生懸命練習しています。地元の方々に応援される組になるように頑張っていきたいと思っています。

今後もふれあい館での活動を続け、地元の方々にも来ていただいて、演奏を聴いてもらったり、お話ししたり、和楽器を通じて交流できたら嬉しく思います。どうぞ気楽に足を運んでください、



〈三味線を練習する平川〉



〈観光客と協演〉

第35回南木曾町・妻籠健康マラソン大会写真集

6月7日(日)梅雨入り前の青空の下、新緑の妻籠宿を946人のランナーたちが軽快に駆け抜けました。今年は広報部としては取材に出かけず、それぞれの立場で選手たちを応援しました。今回は写真特集にしました。



〈3.5 kmは旧妻籠小学校スタートです〉



〈寺下地区を走る仮装ランナーたち〉



〈ふれあい館前で給水・応援〉



〈陣屋太鼓も毎年応援しています〉



〈10 kmコース断然トップの西尾修一さん〉



〈下町水車前の上り坂、厳しいぞ〉
(撮影：平野かほり)

平成27年度活動計画について

案内人の会会長 原 修 己

早いもので新年度に入り3ヶ月余りが経過した。昨年は、南木曽の土石流災害を始め県内は自然災害に見舞われた1年でした。この影響か、妻籠宿においても外国人の観光客が目立ったものの、日本人観光客が減少しました。

善光寺の御開帳、北陸新幹線の金沢延伸も影響したものと思われます。案内件数も、対前年比85%に終わりました。

平成27年度の活動計画は、まず「初心にかえり基本を学ぶ」ことです。先輩の方々が営々と築いてきた遺産を守り、後世に語り引き継がなければなりません。マンネリになりがちな学習会を、毎回、実のあるものにしたいと考えています。

次に「各種団体との交流を図る」ことです。去る6月25日、昨年の視察研修でお世話になった「若狭語り部の会」21名の皆さんが来宿され、宿場見学の後交流会を行い、お互いが抱えている問題点等について、意見交換ができました。これからも会員の皆さんと共に各種研修会に積極的に参加し、レベルアップを図っていきます。

3番目は、「外国人観光客の対応」です。近年外国からの観光客が多く見受けられるようになりました。現在、外国人に対応できる案内人は、数名です。今のところ案内をしてほしいとの希望は多くはありませんが、先を見据えて取組みます。第4番目は「会員の拡大」です。現在、案内人は14名、平均年齢73歳と、年々高齢化が進んでいます。会員の拡大が最重要課題となっています。歴史に興味のある方、案内人としてもいいよという方は、ご一報下さい。説明に伺います。今年度も会員一同、微力ではありますが、妻籠宿のPRに努めますのでよろしくお願ひします。

「来たれ、案内人希望の方、待ってます」

〈事務局 TEL:0264(57)3513〉



平成27年度 (公財) 妻籠を愛する会事業計画

1. 妻籠宿保存のための調査・研究・指導・援助に関する事業

現状変更行為申請受付事務及び指導・援助、月例統制委員会の開催と申請事項の審議、統制委員会の研修、建築物保存修理修景計画への参画、空き家に関する調査・研究・道標等の製作・講習会の実施、防災施設の点検・修理計画の推進、防災訓練の実施、全国町並みゼミ等研修会への参加・参画

2. 建造物の保存及び景観を守るために必要な維持管理・環境保全事業

「立場茶屋」建物の維持管理・活用・通年開放及び周辺耕作地管理、「白木改番所」の史跡公園整備、中山道沿線の景観整備・松枯れ対応、「尾又屋」「まつや」の維持管理・活用、板葺き石置き屋根の保存技能の継承、中央駐車場トイレの洋式化

3. 文化財の公開に必要な諸施設の設置と、その維持管理に関する事業

「ふれあい館」の管理運営、「四阿」の維持管理、休息施設の維持補充、ホームページ等による保存事業の情報発信、道標・説明板の見直しと更新、民俗資料の収集・公開・活用

4. 文化の向上を図るための調査・普及に関する事業

広報「妻籠宿」・事務局便りの発行配布、「文化文政風俗絵巻之行列」の実施、「妻籠冬期大学講座」の主催と勉強会の支援、妻籠宿案内人の会への支援・育成、古い時代の衣装の保存・収集・活用・着付け教室の実施、妻籠及び木曽に相応した文化の伝承と開発・研究

5. 文化財と一体をなす自然環境の保護に関する事業

保有山林地の維持管理、休耕地の景観整備、重伝建地域の桜・ミツバツツジ等の花木の保護・植栽・育成と景観整備、妻籠城址の環境整備、外来動植物の駆除

6. 重要伝統的建造物群保存地区内において公開に必要な事業の受託

町営駐車場管理事業、旧妻籠小学校の管理、妻籠観光協会事務事業

7. 関係機関、連携団体との集落保存、自然環境の保護、地域づくりに関する事業

木曽風景街道推進協議会・木曽ユネスコ協会との協働活動、木曽街道連絡会の事業の推進、関係団体との交流、国土交通省エクスカーション活動参加

8. 前号までに掲げるもののほか、前号までの目的を達成するために必要な事業

中央駐車場の経営及び環境整備、取得資産の有効活用

宿 場 暦

- 5月 8日：妻籠宿案内人の会総会
 11日：高崎経済大学来宿
 13日：(公財)妻籠を愛する会理事会
 19日：木曽風景街道推進協議会役員会
 (理事長・常務)、テレビ信州撮影
 20日：統制委員会、広報114号発行
 26日：厩屋根返し(20名参加)
 27日：(公財)妻籠を愛する会評議員会
 29日：木曽エコパーク会議(常務)
- 6月 2日：オオキンケイギク除去作業
 (環境保全委員会)
 3日：衣装部会
 5日：木曽風景街道推進協議会総会
 6日：日本ナショナルトラスト理事会・総会
 7日：南木曽町・妻籠健康マラソン大会
 9日：関西テレビ撮影
 11日：全国町並みゼミ理事会(常務)、
 工学院大学撮影、コミュニティテレビこもろ撮影
 12日：第38回全国町並みゼミ豊岡大会
 (~14日・6名参加)、南木曽町リニア中央
 新幹線対策協議会、観協女性部会
 18日：長野放送撮影
 22日：統制委員会
 23日：地域づくりネットワーク幹事会
 (安曇野市・常務)
 25日：案内人の会交流会(小浜市来宿)
 27日：まつや片付け(町おこし協力隊他)
 28日：観光地点パラメータ調査(県観光部)
 29日：木曽エコパーク会議
 30日：観協部長会議(町との懇談会)
- 7月 1日：長野放送撮影
 2日：観協中山道整備作業
 3日：広報部会
 6日：案内人の会世話人会
 8日：スナジ沢・和合妻籠線現地確認(常務)
 17日：案内人の学習会、南木曽町リニア中央
 新幹線対策協議会
 21日：統制委員会、広域季刊誌プロジェクト会議
 23日：和智埜神社例祭(~24日)
 27日：労働安全大会(南木曽会館・2名参加)、
 週刊現代撮影
 28日：名工土木城山草刈、南日本放送撮影
 29日：風景街道外来植物駆除講習会(4名)
 31日：広報部会

統制委員会審議事項

- 5月20日
 ・自宅前舗装工事(大妻籠) 1件
 ・電灯引込線新設(中電:寺下) 1件
 ・電灯引込線張替工事(中電:橋場) 1件
 ・配電線設備の保安伐採(中電:妻籠地区) 1件
 ・アスファルト舗装工事(町:恋野) 1件
- 6月22日
 ・屋根瓦葺き替え(渡島) 1件
 ・立木枝伐採(町:町宮第2P) 1件
 ・森林病害虫被害木処理(町:橋場) 1件
 ・石跳防護ネット設置(町:大妻籠) 1件
 ・道路陥没修繕(町:大妻籠) 1件
 ・妻籠防災管修繕(教委:大井水) 1件
 ・平成27年度重伝建事業(寺下) 1件
 ・倒木処理(中電:恋野256沿) 1件
 ・臨時電灯引込線新設(中電:細野山) 1件
 ・コンクリート柱新設工事(中電:256沿) 1件
 ・変圧器撤去・取替・新設等(中電:上在郷) 3件
 ・住居除去(上在郷) 1件
 ・店舗改修工事(中町) 1件
 ・小屋屋根葺替工事(恋野) 1件
 ・住居改修(内装)(寺下) 1件
 ・砂防堰堤工事(渡島) 保留
- 7月21日
 ・支障木伐採及び枝払い工事(県:大高取) 1件
 ・平成27年度重伝建事業(寺下) 1件
 ・側溝修繕(町教委:奥谷入口) 1件
 ・支障木伐採(町:軽便道) 2件
 ・配電線設備の保安伐採(中電) 3件
 ・鉄塔防錆塗装工事(関電:城山外) 1件
 ・耐震補強工事(関電:尾又) 1件



(7/28：名工土木草刈作業)

発行:公益財団法人妻籠を愛する会
 〒399-5302 長野県木曽郡南木曽町吾妻2159-2
 TEL:0264-57-3513 (FAX兼用)

木曾風景街道 外来植物駆除講習会に参加！

広報部 下 枝 その子

7月29日(水)、木曾風景街道推進協議会主催の「外来植物駆除講習会」に参加しました。妻籠からは4名の参加、全体では30名の参加がありました。木曾文化公園に集合し、概略の説明を受けたあと、マイクロバスに乗り込み開田高原末川に向かいました。途中車窓から見える植物について、講師の楯誠治先生から説明がありました。帰化植物の多いこと!月見草で親しまれている「オオマツヨイグサ」「セイヨウタンポポ」「ハルジオン」「オオキンケイギク」も見える。ほとんど帰化植物ではないか…。

末川に入ると「アラゲハンゴンソウ」が目立つ。んん?これはよく目にするぞ!やはり、きれいだから植えたのがあちらこちらに増殖してしまったのだ。帰化植物でも特定外来生物に指定されていなければ駆除の対象ではない。しかし、繁殖力は強大である。私の子どもの頃でも「ニホンタンポポ」なんてほとんど目にする事はなかったな、と思ひ出す。

長野県内で見られる特定外来植物は「アレチウリ」「オオキンケイギク」「オオハンゴンソウ」の3種だそうです。「アレチウリ」と「オオキンケイギク」は妻籠でも猛威をふるい、毎年愛する会で駆除作業を行っている。最初の頃に比べるとずいぶん減った気はするが、なかなかしぶとい。

今回講習会の駆除対象である「オオハンゴンソウ」、末川沿いに群生しているのが車窓からでも分かる。川沿いに増えているらしい。西野を過ぎ、三岳地区に移動する。天文台へいく途中の道路、川沿いがものすごい!これは、天文台建設の折、道路拡幅工事を行った際に運ばれたらしいということでした。何かを得るには何かを失うのだと改めて感じました。



〈開田高原西野地区生え始めのオオハンゴンソウ〉

いよいよ「オオハンゴンソウ」の駆除実習です。三岳本洞川沿いの土手に大繁殖していた。この草は私が想像していたのとはずいぶん違い高さ3mにも育つという巨大植物だった。茎は堅く、根は深く、両手でひっぱったくらいではおいそれとは抜けない。3本鍬を使用し、力いっぱい根から掘る。大変な作業でした。しかし、大勢の力は素晴らしい!こんなに沢山どうなるんだろうと思っていたが、小一時間も経たぬうちに土手はきれいに变身した。お疲れ様でした。

ただ、道路の反対側を見てびっくり!まだまだある…。帰り道にも沢山群生していた。「オオキンケイギク」にしても「オオハンゴンソウ」にしても黄色で見た目は美しく帰化した直後は皆に愛された。しかし、増えすぎ日本の在来種を駆逐してしまった結果、嫌われ者に…。皮肉なものだ。

特定外来植物は私たちの自然環境に大きな影響を与えたり、農作物に被害を与えたりするものである。気づいたら抜くように心がけたい。



〈本洞地区駆除作業〉

表紙の絵を描いてくださった

ユリコ・タカタさんのプロフィールを紹介します!

アメリカ合衆国、サンフランシスコ在住

日系2世、1957年生

アーティスト

妻籠来宿は2度目

今回は姪のアイコ・

タカタさんを同伴

